

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 3 月 15 日 (2007.3.15)

【公表番号】特表 2006-516451 (P2006-516451A)

【公表日】平成 18 年 7 月 6 日 (2006.7.6)

【年通号数】公開・登録公報 2006-026

【出願番号】特願 2006-503019 (P2006-503019)

【国際特許分類】

**A 6 1 M 25/00 (2006.01)**

**A 6 1 M 39/00 (2006.01)**

**A 6 1 N 1/372 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 M 25/00 3 0 6 B

A 6 1 M 25/00 3 1 8 B

A 6 1 M 25/00 4 1 0 R

A 6 1 N 1/372

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 1 月 26 日 (2007.1.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

患者の心臓にアクセスするためのガイディングカテーテルシステムであって、

1 つの外筒と、

1 つのスタイレットと、を含み、

前記外筒が、1 つの開口ガイドルーメンと、該外筒の外面に沿って設けられた少なくとも 1 つのインフレーションルーメンと、該外筒の遠位部分に固定可能に取り付けられた遠位バルーンの少なくとも 1 つのセグメントであって、該遠位バルーンが該少なくとも 1 つのインフレーションルーメンと流体連絡しているセグメントと、を含み、

前記スタイレットは前記外筒のガイドルーメン内に配置され、該スタイレットは予備成形された遠位屈曲部を含み、該スタイレットは該外筒の長手軸に沿って該外筒内で回転可能であり、また、該スタイレットの該予備成形された遠位屈曲部は、該スタイレットの回転に伴って該外筒の長手軸の側方へ該外筒を偏向させる寸法に作られていることを特徴とするガイディングカテーテルシステム。

【請求項 2】

該外筒が、該外筒の長手軸に沿って設けられたピールアウェイ機構をさらに含む、請求項 1 記載のガイディングカテーテルシステム。

【請求項 3】

該ピールアウェイ機構が、該少なくとも 1 つのインフレーションルーメンと該外筒の外面との間の逃げ溝を含む、請求項 2 記載のガイディングカテーテルシステム。

【請求項 4】

該ピールアウェイ機構が、該少なくとも 1 つのインフレーションルーメンと該外筒の外表面との間の界面で肥厚区間をさらに含む、請求項 2 記載のガイディングカテーテルシステム。

【請求項 5】

該スタイレットが１つの開口ルーメンを含み、該ガイディングカテーテルシステムが、該スタイレットの該開口ルーメン内に移動可能に配置された１本のガイドワイヤーをさらに含む、請求項１記載のガイディングカテーテルシステム。

【請求項６】

該ガイドワイヤーが該ガイドワイヤーの遠位先端でループを含む、請求項５記載のガイディングカテーテルシステム。

【請求項７】

該ガイドワイヤーは、該ガイドワイヤーの遠位先端が室温では実質的に直線状であるが体温ではループ形状を取るような材料から形成される、請求項５記載のガイディングカテーテルシステム。

【請求項８】

該ガイドワイヤーが該ガイドワイヤーの遠位先端でセンサーを含む、請求項５記載のガイディングカテーテルシステム。

【請求項９】

該センサーが電極を含む、請求項８記載のガイディングカテーテルシステム。

【請求項１０】

該外筒の開口ガイドルーメンが電氣的医療用リード線を受け入れる寸法に作られている、請求項１記載のガイディングカテーテルシステム。

【請求項１１】

該インフレーションルーメン内に組み込まれた１つ以上の第２のバルーンをさらに含む、該第２のバルーンが該遠位バルーンセグメントの近位置にある、請求項１記載のガイディングカテーテルシステム。

【請求項１２】

前記遠位バルーンが溝付きである、請求項１記載のガイディングカテーテルシステム。

【請求項１３】

ガイディングカテーテルシステムを制御する方法であって、  
スタイレットを外筒のガイドルーメン内に導入するステップを含み、前記スタイレットは開口ルーメンと、前記スタイレットの回転時に前記外筒の長手軸に対して横方向に前記外筒を偏向させる寸法に作られている予備形成された湾曲部を有しており、  
遠位バルーンを拡張させるステップを含み、遠位バルーンの少なくとも１つのセグメントが前記外筒の遠位部分に固定可能に取り付けられ、前記遠位バルーンが前記外筒の１つの面に沿って設けられた少なくとも１つのインフレーションルーメンと流体連通しており、前記遠位バルーンは拡張された場合に前記外筒を取り囲む１つの面に係合可能である、  
ガイディングカテーテルシステムを制御する方法。

【請求項１４】

本のガイドワイヤーを前記スタイレットの開口ルーメンを介して前進させて、少なくとも該ガイドワイヤーの遠位端が前記スタイレットの開口ルーメンから出るようにするステップをさらに含む、請求項１３の方法。

【請求項１５】

前記ガイドワイヤーが、該ガイドワイヤーの遠位端においてセンサーを支持する、請求項１４の方法。

【請求項１６】

前記スタイレットを前記外筒から抜去しかつ電氣的医療用リード線を前記外筒の前記ガイドルーメンを介して前進させるステップをさらに含む、請求項１３の方法。

【請求項１７】

前記遠位端にある前記バルーンの近位置で前記外筒に取り付けられた第２のバルーンを拡張させるステップをさらに含む、請求項１３の方法。